

病名の標準コードの意義と 標準病名マスターの今後

東京大学
大江和彦

いわゆる「標準病名マスター」とは

- 病名情報を医療情報システムで効率的に処理できることを目的として、病名表現の**些細な違いをなくし**、「**1つの病気(疾患)に1病名表現、1病名コード**」を実現するために作成された病名一覧表
- コンピュータ処理を容易にするために、1病名表現に対して一意に識別できる病名コード(英数字コード)が割り当てられている。
- 国際分類に対応するため、1病名表現に対して、ICD10(国際疾病分類第10版)の分類コードが4桁コード(一部5桁)まで振られている。
- 多様な患者状態の病名記載に対応できる柔軟性を確保するため、**修飾語**セットが用意され、利用時に病名の前後に修飾語を追加して、より詳細な病名を表現できる。

いわゆる「標準病名マスター」とは

- 正式名は2つ
 - 「ICD10対応標準病名マスター」
 - (財)医療情報システム開発センター(MEDIS-DC)
 - 「(レセプト電算処理用)傷病名マスター」
 - 社会保険診療報酬支払基金
- 2001年10月1日 ICD10対応標準病名マスター第2版としてMEDIS-DCよりリリース(18805語)
- 2002年6月1日 レセプト電算処理用傷病名マスターと病名を一本化、同一のマスターとして統合(19032語)し、第2.1版となる。双方よりそれぞれの名前でリリースが始まる
- 2003年4月1日 レセプト電算処理用修飾語マスターを一本化し、完全統合

標準病名マスターの 行政上の位置づけ

- レセプトの傷病名欄への記載として用いることが厚生労働省保険局医療課から通知され、傷病名マスター改訂のたびにその改訂内容が告示されている。
 - 『「診療報酬請求書の記載要領等について」の一部改正について(平成14年4月19日保医発第0419001号厚生労働省保険局医療課長通知)』 2.診療報酬明細書の記載要領に関する事項 (17)「傷病名」欄について ア 傷病名については、原則として注)「磁気テープ等を用いた請求に関する厚生労働大臣が定める規格及び方式」別添3に規定する傷病名を用いること。
- 厚生労働省標準規格のひとつとして指定(2010年3月31日付け)され、厚労省の医療情報関係事業で積極的に活用するよう、全国都道府県に通知(医政発0331第1号)された。



- ・ [財団案内](#)
- ・ [財団の事業内容](#)
- ・ [賛助会員制度](#)
- ・ [個人情報保護方針](#)
- ・ [お問い合わせ先](#)
- ・ [利用上のご注意](#)



新着情報

- 2011. 10. 01 [標準歯科病名マスター \(V1.14\) を公開しました](#)
- 2011. 10. 01 [標準病名マスター \(V3.01\) を公開しました](#)

[新着情報バックナンバー](#)

事業/サービス

- [医療情報システム監査人試験制度](#)
- [病院CIO支援サービス/電子カルテ導入支援コンサルティング](#) (2010. 05. 11更新)
- [周産期医療IT化事業](#) (2007. 11. 09更新)
- [医療情報のニュースや資料が入手できるサイト「Medical IT Link」](#)
- [保健医療分野のプライバシーマーク付与認定事業](#)
- [医療情報システム安全管理評価制度 \(PREMISs\)](#)
- [Medicertified電子証明書発行サービス](#)
- [クリティカルパス・ライブラリー<医療者用・患者用>](#) (2011. 09. 14更新) **NEW!**
- [MEDIS-DC HPKI署名用電子証明書発行サービス](#) (2010. 03. 31更新)
- [可搬型電子保健医療手帳に関する調査研究](#) (2008. 04. 25更新)
- [SaaS型ME機器管理システム「MEDICSON」](#)

情報提供/ダウンロード

- [MEDIS標準マスター総合案内](#) (2011. 10. 01更新) **NEW!**
- [医薬品HOTコードマスター](#) / [病名マスター](#) / [歯科病名マスター](#) / [臨床検査マスター](#) / [手術・処置マスター](#)
- [歯科手術・処置マスター](#) / [看護実践用語標準マスター<看護行為編・看護観察編・看護実践用語マスター作業班>](#) / [医療機器データベース](#) / [症状所見マスター<身体所見編>](#) / [画像検査マスター](#) J-MI

ICD10対応標準病名マスター



◆ 更新情報、シンポジウム開催など (10/1更新) **new!**

◆ V301をリリースしました。

◆ 構成テーブル (特徴、ファイル構成等)	概要
◆ マスターダウンロード (V3.01、10/1更新) new!	ダウンロード
◆ マスター新着情報 (10/1更新) new!	新着情報
◆ ICD修正予定	ICD修正
◆ 病名・修飾語の追加要望、質問等	お問い合わせ
◆ 次回以降のマスター更新予定 (8/11更新)	更新予定
◆ 過去のマスター更新履歴 (10/1更新) new!	更新履歴
◆ FAQ	FAQ
◆ その他	その他

傷病名マスターの提供サイト

厚生労働省保健局・社会保険診療報酬支払基金
診療報酬情報提供サービス

<http://www.iryohoken.go.jp/shinryohoshu/downloadMenu/>

診療報酬情報提供サービス

診療報酬情報提供サービス

www.iryohoken.go.jp/shinryohoshu/downloadMenu/

診療報酬情報提供サービス
-- Various Information of Medical Fee --

トップページ サイト全般 レセプト電算処理関連 基本マスター関連 薬剤分類情報

ファイルダウンロード

このページでは基本マスターの全件データをダウンロードすることができます。

電子点数表につきましては[社会保険診療報酬支払基金のHP](#)をご覧ください。

(平成22年12月24日より、電子点数表のURLが変更になりました)

- ・ダウンロードのヘルプは[こちら](#)
- ・データ内容に関する説明は[こちら](#) (ご利用いただくには[Acrobat Reader](#)(無料)が必要です)

ダウンロードしたいマスター名をクリックしてください。

マスター			対象		
マスター名	件数	最終更新日	医科	歯科	調剤
医科診療行為マスター (279KB)	5,705件	平成23年10月19日	○	○	
医薬品マスター (701KB)	18,230件	平成23年 9月30日	○	○	○
特定器材マスター (34.4KB)	971件	平成23年 9月 9日	○	○	○
傷病名マスター (1.00MB)	23,523件	平成23年 9月30日	○	○	
修飾語マスター (43.1KB)	1,979件	平成23年 9月30日	○	○	
コメントマスター (8.46KB)	319件	平成22年 4月 1日	○	○	○
歯科診療行為マスター		平成23年 9月12日		○	
様式マスター (6.33KB)	915件	平成23年10月 3日		○	

標準病名マスター

その2つのルーツと誕生の経緯

- 1993頃～ MEDISで「ICD10対応標準病名集第1版」の編纂が始まる：
里村洋一(当時千葉大病院医療情報部教授)らによる。
1995時点 16,551件
- 1996 「診療科別標準傷病名集」 社会保険診療報酬支払基金(監修:厚労省、日本医学会)がリリースされる
開原成允(当時東京大学病院中央医療情報部教授)らによる。
 - レセプト電算処理用を目的とした傷病名とそのコード表
 - 傷病名マスターと修飾語マスターから構成される
 - 意味的な階層記載が診療科別に作成されている
- 1999. 4 「ICD10対応標準病名集第1版」がMEDISからリリースされる
 - ICD10コードが付与されている
 - 同義語辞書がついている

1996 「診療科別標準傷病名集」

社会保険診療報酬支払基金(監修:厚労省、日本医学会)



【 内 科 】

傷 病 名	ICD-10 (中分類コード及び 基本分類コード)	指導料	コード
《類:ケルコース耐性異常》	0403 E74		2713012
《類:耐糖能障害》	0403 E74		7902008
《類: I G T 》	0403 E74		2713014
高血糖(症)	1800 R79		7900013
糖尿病	0402 E13	特定・老人	2500013
軽症糖尿病	0402 E13	特定・老人	2500003
不安定型糖尿病	0402 E13	特定・老人	2500027
若年性糖尿病	0402 E13	特定・老人	2500007
《同:若年型糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500008
境界型糖尿病	0402 E13	特定・老人	2500031
《類:糖尿病境界型》	0402 E13	特定・老人	2500016
《類:境界型糖代謝異常》	0403 E74		2719002
インスリン依存性糖尿病	0402 E13	特定・老人	2500032
《同:インスリン依存糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500021
《類:若年発症糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500034
《類:1型糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500014
インスリン非依存性糖尿病	0402 E13	特定・老人	2500033
《同:非インスリン依存糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500028
《同:インスリン非依存糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500020
《類:成人発症糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500035
《類:2型糖尿病》	0402 E13	特定・老人	2500015

両者の統合にむけた努力

→ ICD10対応標準病名集第1版に向けて

第17回医療情報学連合大会 17th JCMII(NOV.,1997)

ICD10対応標準病名集の開発とその利用

○里村 洋一¹ , 山崎 俊司¹ , 佐々木 哲明²

千葉大学医学部附属病院¹ , 医療情報システム開発センター²

A Standard Diagnostic Terminology in accordance with ICD-10 and its Application

○Yoichi SATOMURA¹ , Syunji YAMAZAKI¹ , Tetsua SASAKI²

ICD10対応標準病名集の開発とその利用

○里村 洋一¹, 山崎 俊司¹, 佐々木 哲明²

千葉大学医学部附属病院¹, 医療情報システム開発センター²

A Standard Diagnostic Terminology in accordance with ICD-10 and its Application

○Yoichi SATOMURA¹, Syunji YAMAZAKI¹, Tetsua SASAKI²

- ICD-10に対応する標準病名集の開発をはじめ、すでに4年が経過した。この病名集の編集と自動コーディングシステムについては、すでに1995年の連合大会で報告しているが、その後、レセプト電算処理システムのために開発された病名集（診療領域別標準病名集）が編集されて、その供用が始まろうとしている。
- 国の単位で開発された標準病名集が複数存在することは、使用者に混乱を招くおそれもあることから、このICD10準拠病名集と診療領域別標準病名集の二つの整合性をとり、実質的に同じ病名集として利用できるよう再編集をおこなった。また、自動コーディングの効率をあげるために病名表現の形式を統一し、同時に、同義語と同義文字のリストを充実した。（同論文集より引用）

ICD10対応標準病名集の開発とその利用

○里村 洋一¹、山崎 俊司¹、佐々木 哲明²
千葉大学医学部附属病院¹、医療情報システム開発センター²

A Standard Diagnostic Terminology in accordance with ICD-10 and its Application

○Yoichi SATOMURA¹, Syunji YAMAZAKI¹, Tetsua SASAKI²

二つの病名集の統合

ICD10対応病名集はICD10の分類に基づいて、一般に使用されている病名表現を集めて整理したもので、1995年には16551件の病名を収録して報告した。

一方、厚生省は診療報酬請求の電算化のために、標準の病名集を必要とすることから、本プロジェクトとは別に比較的コンパクトな病名集を開発してきた。この病名集は、各診療領域の医学教科書の記載項目ごとに病名を収集し、同時に病名間の関連をICD分類とは別の概念で整理し編集したものである。1996年、**診療科別標準病名集**として出版した。

これらの二つの関連については、当初、ICD10準拠の方は、診療報酬請求だけではなく一般の診療や医学研究・医療統計などを対象とした広範囲な応用を目指すもので、診療科別病名集を包含した形で編集することとしていた。**(同論文集より引用)**

「診療科別傷病名集」の編纂ポリシー

1. 広義語と狭義語との関係をもって病名を配列できること
2. 同義語と類義語を持つこと
3. 見出し病名を標準としてひとつ決めること
4. 修飾語を整理して用意しておくこと
5. 病名と修飾語に一意に異なるコードをつけること

資料：医療情報学 14(2), 1994: 73-79

73

(医療情報学14(2),1994,73-39)

シソーラスの考え方を取り入れた標準病名集

Compilation of Standard Expression of Diagnoses with Concept of Thesaurus

開原 成允¹ 沈 発智¹ 石井 繁夫¹ 長瀬 淑子¹
Shigekoto KAIHARA Hatsutomo SHIN Shigeo ISHII Toshiko NAGASE
大江 和彦¹ 桜井恒太郎¹ 木内 貴弘²
Kazuhiko OHE Tsunetaro SAKURAI Takahiro KIUCHI

1 はじめに

1) 問題の所在

病院情報システムが普及し、多くの医療情報がコンピュータで扱われるようになってきている。この中で「病名」は、保険請求という非常に実務的な作業の中でも必要であるし、また臨床医学研究においても最も重要な情報の一つである。すなわち、

さらに、病院情報システムの中での病名の入力方法についても、医師が直接入力するのか、または事務関係者が入力するべきなのかについても意見が分がれている。

以上のように病名を扱う標準的方法が存在しない結果として、例えばある病院と他の病院の患者像を比較しようとしても、病名が異なるために正確な比較は困難であるという事態が生じている。

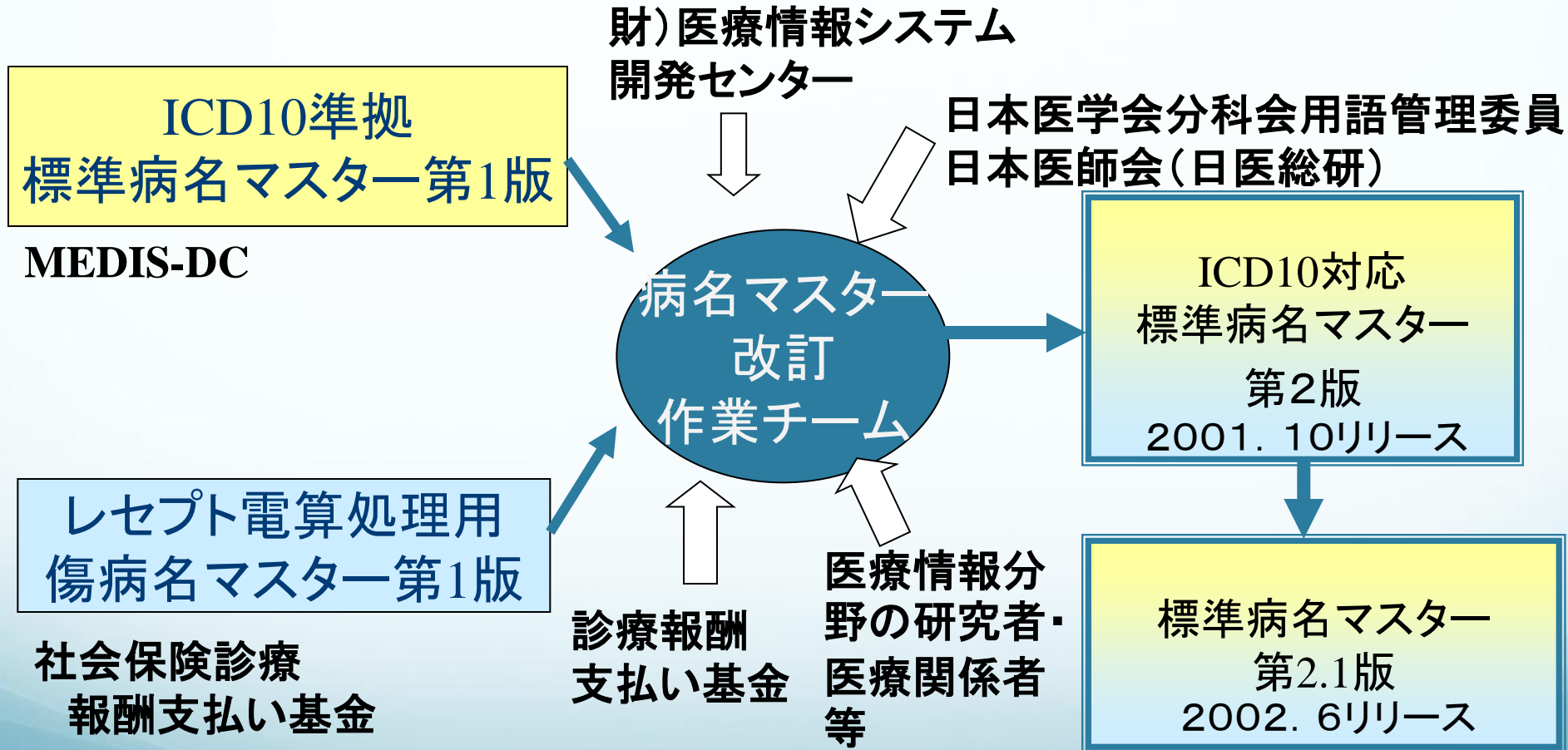
【 内 科 】

傷	病	名
		<類：グルコース耐性異常> <類：耐糖能障害> <類：I G T>
	高血糖（症）	
	糖尿病	
	軽症糖尿病	
	不安定型糖尿病	
	若年性糖尿病	<同：若年型糖尿病>
	境界型糖尿病	<類：糖尿病境界型> <類：境界型糖代謝異常>
	インスリン依存性糖尿病	<同：インスリン依存糖尿病> <類：若年発症糖尿病> <類：1型糖尿病>
	インスリン非依存性糖尿病	<同：非インスリン依存糖尿病> <同：インスリン非依存糖尿病> <類：成人発症糖尿病> <類：2型糖尿病>

統合された 標準病名マスター第2版へ(2000～)

- ひとつの患者状態(病気＝疾患概念)を原則としてひとつの病名表現で表す。
 - ICD10細分類レベルでの疾患概念が表現できるように。
 - 日本医学会等の学会用語集にある疾患概念は採択
 - 臨床教科書や診断基準で用いられている概念は採択
- 臨床医学上、違和感のない病名表現の採択
 - 原則は日本医学会用語集の見出し語表現を採択
 - 異なる疾患概念は区別できなければならない
 - 例:「手の舟状骨骨折」「足の舟状骨骨折」
- 疾患概念に対して割り当てたコードを導入
 - 病名表現が変換しても変わらないコード(疾患概念情報交換用のコード)
 - 例:痴呆症(旧)と認知症

統合された標準病名マスター第2版の 編纂作業(2000.5~)



標準病名マスター

収載語の数 (V3. 10 2011.10.1)

- LT病名数 23,522語 (傷病概念数)
- 修飾語数 2,096語
- 索引語数 94,107語

病名の標準化と 標準コード化の 必要性

カルテ、レセプト、診断書などに 自由記載される多様な病名表現


- 例1: 部位の表現の微妙な違い
 - 前額部打撲、ひたい打撲、前頭部打撲
- 例2: 略語や漢字かなの使い方の違い
 - 胆石症、胆石、胆のう結石症、胆嚢結石
- 例3: 医学用語と一般(マスコミ)用語の違い
 - エコノミークラス症候群、ロングフライト症候群、肺血栓塞栓症
- 例4: 標準化不十分、意見の相違、人名の読み方の違いなど
 - バージャー病、ビュルゲル病、
バージャー氏、病ビュルガー病、
閉塞性血栓血管炎

医療情報の電子化のための 病名とコードの標準化

- カルテの電子化、電子レセプト、臨床研究データベース、臨床医学統計などの目的で、病名の記述を、標準化する必要が生じてきた。
- 効率的なコンピュータ処理には表現のバリエーションに左右されない標準コードが必要

日本医学会の用語標準化活動

[医学用語辞典トップページ](#)

 日本医学会 医学用語辞典 WEB版

日本医学会 医学用語辞典 英和 第3版

医学用語辞典（英和）第3版について



日本医学会 医学用語辞典

英和

日本医学会医学用語管理委員会 編 改訂第3版

定価：14,700円（本体14,000円＋税5%）

発行：南山堂（TEL:5689-7855）

ISBN978-4-525-01423-0

改訂第3版は、日本医学会の事業として医学用語管理委員会により編纂されたわが国の標準ともいべき医学用語集です。第3版はとくにMeSH（Medical Subject Headings）、UMLS（Unified Medical Language System）にも照らし世界水準の用語の適合を目指しています。また日本医学会分科会の協力を得て各分科会の選定用語を広く採用し、整理・統合した集大成であり、かつ最新の医学用語を採り入れました。

本辞典が医学界で広く利用され、教育、研究、医療などの実際に役立つことが期待されています。今回は辞書にCD-ROMを添えましたので、医師、医院、公的機関、図書館等で広くご活用下さい。

医学用語辞典第3版での標準化の例

— 日本語表記のゆれ(1) —

本辞典で採用した表記法	その他の表記法	
1. 漢字とかなの選択（漢字を選択したもの）		
橈骨	とう骨	
腓骨	ひ骨	
篩骨	し骨	
踵	かかと	
瞳	ひとみ	
睫毛	まつげ	
鼠径部	そ径部、鼠径部、鼠蹊部	
癌	がん、ガン	
罹患	り患	
産褥	産じょく	

医学用語辞典第3版での標準化の例

—日本語表記のゆれ(2)—

2. 漢字とかなの選択 (一部または全部にかなを選択したもの)

うつ病	鬱病	
うっ血	鬱血	
せん妄	譫妄、せんもう	
ざ瘡	痊瘡	日本皮膚科学会は「痊瘡」
びらん	糜爛	
てんかん	癲癇	
らい菌	癩菌	
くる病	尙俛病	
びまん性	瀰漫性、び漫性	

医学用語辞典第3版での標準化の例

—漢字異字体問題—

4. 漢字の異体字の選択

靱帯	靱帯	
膾	膾	一般社会では「膾」が多く使われている
囊	囊	
鈎	鈎	
莓	莓	

5. 同音漢字による置き換え

交差 (交叉)	交叉	一般社会では「交差」が定着しているが、 には神経が交叉するような場合には、「交 した。また三叉神経は当然「三叉」とする
関数	函数	
線維	纖維	一般社会では纖維が使われている
線毛	纖毛	ただし、「纖毛虫」は、「纖毛」を用いる
回虫	蛔虫	

医学用語辞典第3版での標準化の例

—学会による表現の違い、社会的要請—

6. 異なった用語のあるもの

副甲状腺	上皮小体	
精巣	睾丸【旧】	
精巣上体	副睾丸【旧】	
蜂巣炎	蜂窩織炎	
腫瘍	新生物	
認知症	痴呆【旧】	日本精神学会と日本神経学会は「認知症（痴呆）」としている。
統合失調症	精神分裂病【旧】	
精神遅滞【神経】、知的障害【小児】	精神薄弱【旧】	一般社会では「知的障害」が使われている
精神科病院	精神病院【旧】	2006年の法律改正による
色覚異常	色盲【旧】	

医学用語辞典第3版での標準化の例

—外国語のカナ表記のゆれ—

7. 英語の日本語読みの表記法（人名は除く）

アンドロゲン	アンドロジェン	
エストロゲン	エストロジェン	
インスリン	インシュリン	
ポリープ	ポリプ	
アンギーナ	アンギナ	
・ ・ パチー	・ ・ バシー	例：ミオパチー、ニューロパチーなど
ジストニア	ジストニー	
アテトーシス	アテトーゼ	
ミオトニア	ミオトニー	
ジスキネジア	ジスキネジー	
コンジローマ	コンジローム	

標準病名マスターのコード

- 病名管理番号
 - 同一の傷病であっても、異なる用語(表記)ごとにユニークに割り当てた番号(表記と1対1に対応)
- 傷病概念コード(情報交換用コード)
 - 1傷病(1見出し語(LT))に1つ、ランダムに独自に振られた4桁の英数字コード(1文字目は英字)
 - やむを得ず導入された互換表記語とLTとは、同一の病名交換用コード (かぜ と 感冒(互換語))
- レセ電算処理コード(傷病名コード)
 - 病名(表記)ごとにユニークなレセ電算処理用コード
7桁数字
- ICD10分類コード
 - 各病名のICD10分類の4桁コード(一部5桁に対応)
 - 複数分類コード に対応

病名基本テーブルの例

管理番号	病名表記	病名表記カナ	交換用コード	ICD10	複数ICD候補	レセ電算コード
20051086	アレルギー性肉芽腫性血管炎	アレルギーセイニクゲシュセイケツ	JV1D	M301		4460001
20069105	多発性血管炎	タハツセイケツカンエン	KS0V	M319	M319	4460017
20075797	閉塞性血栓血管炎	ヘイソクセイケツセンケツカンエン	NAC9	I731		4431010
20052559	パージャー病	パージャービョウ	NAC9	I731		4431001
20051072	アレルギー性血管炎	アレルギーセイケツカンエン	PG2J	D690		8830390
20058376	急性骨盤腹膜炎	キュウセイコツパンフクマクエン	H5UC		女性=N733;男性=K65	8832352

修飾語の考え方

- 临床上必要となるすべての傷病概念を、あらかじめ網羅して収載することは不可能
 - 骨折 : 左第4指末節骨亀裂骨折
右第3指指節骨剥離骨折 . . .
 - 切創 : 右手背部切創、右鼻翼部切創...
- 接頭辞、接尾辞となりうる部位名、性状、位置や方向、年齢や性別属性などの語を修飾語として用意し、基本病名と組み合わせで造語しても構わないこととした (post-coordination)
- コードは、複数の修飾語コードと病名コードとの組み合わせとなる。(レセ電算の場合修飾語4個まで)

索引用語の考え方

- 標準用語(LT)と同義の(临床上使用されている)用語を収載する必要がある
- 標準用語(LT)を「本来使用すべきでない間違った用語」や「よく思いつく検索用の文字列」からでも検索できる必要がある

→ これらを「索引用語」として別リストにする

基本病名と索引用語との関係の例

病名交換用コード：**PC81** 基本病名：**外傷性頸部症候群** ICD10：**S13.4**

検索数：**27**件

	索引用語	区分
1	むちうち損傷	リードタームの互換病名
2	外傷性頸部症候群	リードターム
3	むちうち症	リードタームの同義語
4	外傷後頸症候群	リードタームの同義語
5	外傷性頸椎症	リードタームの同義語
6	外傷性頸椎症候群	リードタームの同義語
7	頸椎鞭打ち損傷	リードタームの同義語
8	鞭打ち	リードタームの同義語
9	頸椎鞭打ち損傷	リードタームまたは同義語の異字体
10	外傷性頸椎症	リードタームまたは同義語の異字体
11	外傷性頸椎症候群	リードタームまたは同義語の異字体
12	外傷性頸部症候群	リードタームまたは同義語の異字体
13	外傷後頸症候群	リードタームまたは同義語の異字体

検索ソフト「病名くん」「病名くん2.0」



病名くん2.0 (標準病名マスター3.01版同梱)

2011/10/1更新

病名くん2.0は、2002年のリリース以来標準病名検索ツールとして親しまれている「病名くん」の後継ソフト。飾語検索機能に加え、ICDコード決定支援などの機能が追加されました。

The screenshot shows the 'Byomei-kun 2.0' application window. The main search results table is as follows:

病名名	ICD10	交換用...	病名名...
悪性腫瘍総論	C752	F913	8842662
悪性脳腫瘍	C719	V1D6	8830220
悪性乳状腫瘍	C509	CGV5	8842665
アルドステロン腫瘍	D441	S552	8830363
腎上腺腫瘍	D443	FQPO	2396003
腎癌	C169	E48A	1519006
腎臓上皮腫瘍	D371	CEL9	8842552
胃腫瘍	D371	S6C3	2390011
異所性A C T H産生腫瘍	E243	NQT9	2553006
異所性A D H産生腫瘍	E342	B702	2536007
異所性G H R H産生腫瘍	E168	NVM5	2530016
異所性ホルモン産生腫瘍	F342	H0B1	8830490

On the right side, the 'ICD10情報' (ICD10 Information) panel shows details for the selected '胃腫瘍' (D371):

- ICD10見出し: 口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物、胃
- ICD10 D371
- ICD10複数分類: ICD10決定の条件選択
- 交換用コード: S6C3
- 病名コード: 2390011
- 管理番号: 20054201
- ICD10見出し一覧表示
- 診断数分類表示

Below this, the '③選択項目の代替候補' (Alternative candidates for selected items) section shows a list of related terms:

- C160 胃の悪性新生物、噴門
- 噴門癌
- C161 胃の悪性新生物、胃体部
- 胃体部癌
- C162 胃の悪性新生物、胃底部
- 胃底部癌
- C163 胃の悪性新生物、幽門附近

At the bottom, the '④選択項目の合成候補' (Composite candidates for selected items) table is empty.



病名検索アプリAndroid版 病名さん Ver1.0

2011/10/01更新 |

病名さんは標準病名検索ツールとしてご利用いただいている「病名くん」のAndroid版アプリケーションです。スマートフォン等のAndroid OS上で検索できます。

HOME画面

病名さん

傷病名検索

キーワードから探す

英数字・ひらがな・カタカナが入力できます
スペースで区切って5つまで指定可能

ICD10から探す

英数字を5文字まで入力できます

ICD10分類





使用方法



About



履歴

検索結果画面サンプル1

キーワード検索結果

傷病名

ICD10	交換用コード*	傷病名コード*	管理コード*
悪性高血圧症			
I10	G0QQ	8830212	20053925
加重型妊娠高血圧腎症			
O11	JH2G	8842687	20093084
褐色細胞腫性高血圧症			
D350	EPVG	8844144	20090344
境界型高血圧症			
I10	KC9R	8832479	20058827
軽症妊娠高血圧症候群			
O13	ND4j	8842709	20087487
高血圧症			
I10	UHGQ	8833421	20061593
高血圧性悪性脳症			
I674	EEC5	4372001	20061595
高血圧性うっ血性心不全			
I110	B879	8833422	20061594
高血圧性眼底			
H350	VQED	3621009	20061596

「コウケツアツ」

64件



検索結果画面サンプル2

キーワード検索結果

褐色細胞腫性高血圧症
境界型高血圧症
軽症妊娠高血圧症候群
高血圧症
高血圧性悪性脳症
高血圧性うっ血性心不全
高血圧性眼底
高血圧性緊急症
高血圧性虹彩毛様体炎
高血圧性視神経網膜症
高血圧性障害のある母体より出生した児
高血圧性心疾患
高血圧性心腎症
高血圧性心不全
高血圧性腎硬化症
高血圧性腎疾患
高血圧性腎症

「コウケツアツ」

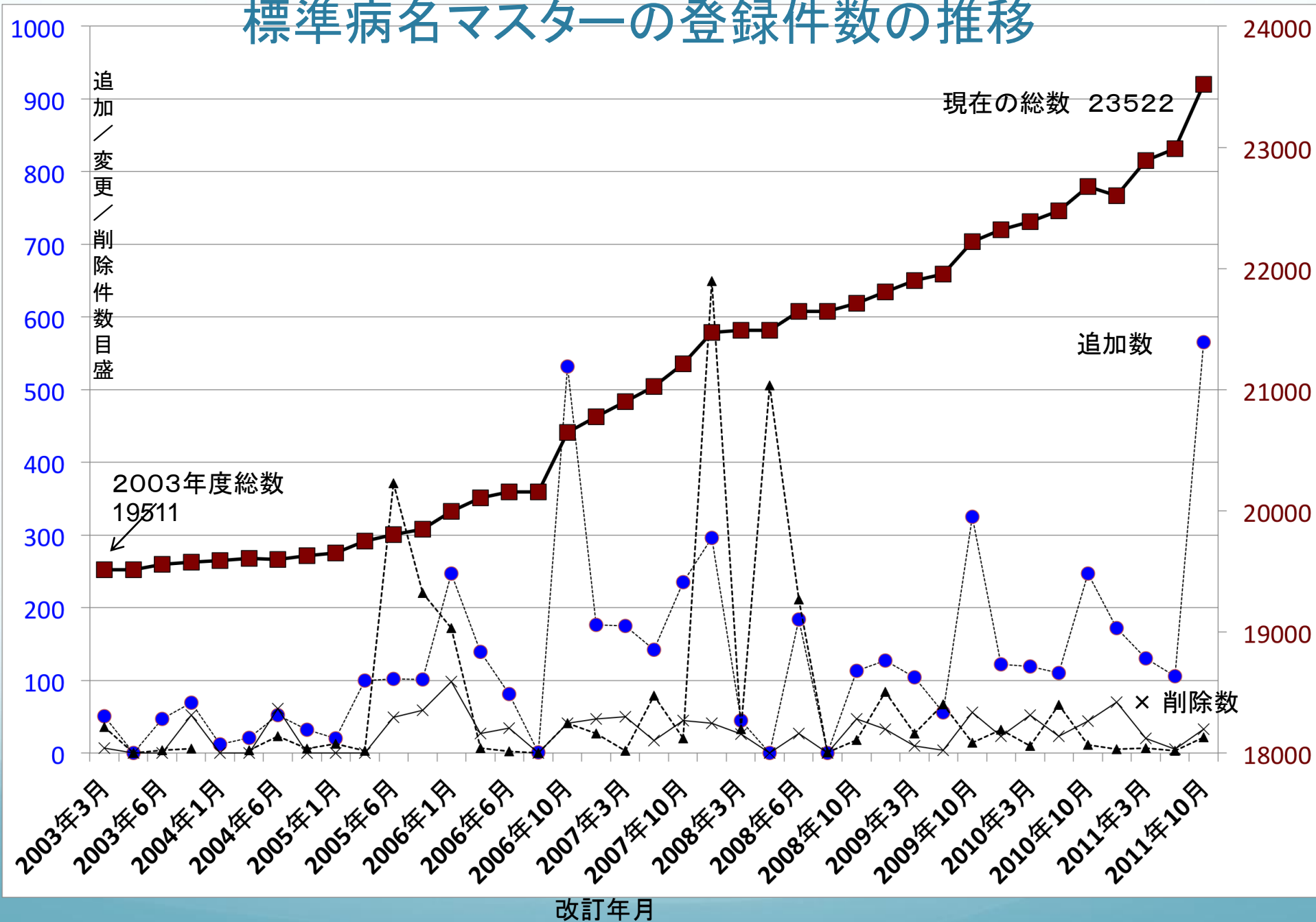
64件



標準病名マスターの維持管理

- 支払基金の下に「傷病名マスター検討委員会作業班」(通称:病名作業班)を設置
 - 班長:大江
コアメンバー: MEDIS-DC、臨床医数名、日医総研、支払基金
- 月1回2時間程度の班会議を経て年に4回更新版を公表(毎年3月、6月、10月、1月)
- 要望は、支払基金とMEDISに窓口があり、そこで受付け、1から3ヶ月程度かけて調査して班会議で処理方法を検討
- 複数用語からの標準語採択や疑義解決にあたっては、必要に応じて日本医学会分科会(用語管理委員)に確認依頼
- ICD10コードの付与に疑義があるケースは厚生労働省大臣官房統計情報部(ICD室)に確認依頼。

標準病名マスターの登録件数の推移



標準病名マスター作業班

TOP | マスター情報 | 病名検索 | 病名くん | 病名くん2.0 | 病名さん | ふくろうくん |

TOP

病名マスター情報

運用補助マスター

病名くん2.0

病名さん

病名くん

ふくろうくん

disPACK

病名ツール

ICD11への改訂情報

関連文献・資料

作業班について

オンライン病名検索 簡略版

ICDコードでも検索できます

ICD階層病名ブラウザ

作業班メンバー用ページ

【新着情報】

■ Android版病名検索ソフトウェア 「病名さん」 (2011/10/1)

「病名くん」のAndroid版アプリケーションです。スマートフォン等のAndroid OS上で病名が検索

→ [詳細情報](#)

■ ICD10対応標準病名マスター・傷病名マスター3.01版 (2011/10/1)

565病名の追加・33病名削除などの更新を実施しました。

改訂についての詳細は[MEDISホームページ](#) または[診療報酬情報提供サービス](#)をご覧ください。

→ [マスター情報のページ](#)

■ 病名マスター関連ソフトウェア

○ Android版病名検索ソフトウェア 「病名さん」

「病名くん」のAndroid版アプリケーションです。スマートフォン等のAndroid OS上で病名が検索

・2011/10/1 公開

○ 病名検索ソフトウェア 「病名くん2.0」

「病名くん」の後継ソフトウェアです。病名・修飾語検索機能に加え、ICDコード決定支援など

・2011/10/1 標準病名マスター3.01版同梱版公開

○ 病名検索ソフトウェア 「病名くん」

標準病名マスター・傷病名マスターの病名・修飾語が検索できます。

・2011/10/1 標準病名マスター3.01版マスター同梱版公開

○ DPC検索ソフトウェア 「ふくろうくん」

病名のICDコードと手術処置等からDPCを検索します。

・2010/8/13 平成22年度DPC改訂対応版公開

標準病名マスターの 個別領域への対応例

- 日本東洋医学会より2008年東洋医学病名の追加要望
 - 学会が漢方添付文書の適応症の記載を491表現に集約
 - 標準病名マスター基本用語テーブル・索引用語テーブルの収載語とのチェック
 - 収載済みの用語(概念)に対応づけられない適応症表現45個について収載要望が寄せられた。

収載要望に対する追加作業の結果

- 42個を新規採用(2008.6)、3個を保留

お血	化膿性皮膚疾患	水毒	暑気あたり
口苦	気うつ	体力低下	小腹急結
血圧異常	気逆	のぼせ	小腹拘急
月経異常	気虚	鼻汁	小腹不仁
口唇乾燥	気血両虚	腹皮拘急	小便不利
更年期神経症	気滞	ほてり	心下悸
心下急	胸脇苦満	胃腸虚弱	心下痞
小腹硬満	血の道症	胃内停水	心下痞硬
心窩部振水音	血虚	咽喉乾燥感	心下痞堅
身体痛	口乾	往来寒熱	夜なき
			臍傍悸
			心窩部不快
			冷え
			うっ血
			化膿症

歯科領域

「歯科標準病名マスター」

- 標準病名マスターには、歯科病名も収載し、歯科領域用語であることのフラグ情報を付与
- 標準歯科病名マスターとしても2008.6月から公開
 - ICD10対応標準病名マスター(歯科病名) + 歯科独自の項目情報
 - 歯科独自の項目:カルテ表記略称名、レセプト表記略称名、ICD-DA、歯科使用分野フラグ、傷病名欄記載不適フラグ
 - 標準歯科病名マスターver1.14(2011.10月)の収載標準歯科病名は2,758件、歯科索引語は12,375件
 - メンテナンス作業は、「歯科分野における標準化検討分科会」(委員長:齊藤孝親(日本大学松戸歯学部))による実施し、標準病名マスター作業班と連携チェックの後に収載
 - ICD10対応標準病名マスターと、同一の時期に年に4回更新2010年9月にはHELICS標準指針として採択、厚生労働省標準として近く通知される予定で調整されている

メンテナンスにおける最近の課題(1)

- 1 修飾語と基本病名との組み合わせの場合のICDコードの問題
(◎◎骨折と骨折)
- 2 同義病名の基本病名用語が存在しているのに、見つけられない問題
 - 索引用語をうまく使いこなせないレセコンの存在
 - 病名を探すより省略コードで独自病名を入力した方が早いシステム
 - 医事職員の病名マスターに対する知識不足
3. (上記の結果として)電子レセプトに「未コード化傷病名」(いわゆるワープロ病名)が多数出現
 - 同義索引用語にも見出し語と同一の傷病名コードを割当てて使用できるようにするなど
- 3 処方薬の適応症表現と基本病名とを完全に一致させられない
 - 切れにくい長く続く痰 v.s. 喀痰喀出困難

メンテナンスにおける最近の課題(2)

- 医薬品添付文書の効果・効能に記載される病態名の収載要望への対応
 - 例)「低用量アスピリン・非ステロイド性抗炎症薬服用時における胃・十二指腸潰瘍の再発抑制」
 - * (すでに患者には潰瘍はない)

既存の病名

- 再発性胃潰瘍、胃潰瘍癒痕、NSAID胃潰瘍、難治性胃潰瘍
- 逆流性食道炎、難治性逆流性食道炎、術後難治性逆流性食道炎、維持療法の必要な難治性逆流性食道炎、維持療法の必要な術後難治性逆流性食道炎

標準病名

V.S. 詳細な患者状態の記載

■ 摘要欄の補足コメント入力による症状所見記録について

([社会保険診療報酬支払基金ホームページ](#) [レセプト電算処理システム](#)に関するQ&Aより転載)

Q 症状所見など傷病名（修飾語）だけでは表現できない場合は、どのように請求すればよいのですか。

A 患者の傷病名を補足する症状所見等については、摘要欄にコメント文を記録することができます。

また、個々の傷病名ごとに、簡単な補足コメントを記録するときには、個別の傷病名ごとに医科及びDPCは20文字まで、歯科は50文字までのコメント記録も可能です。

補足コメント記録例

- ・ A傷病名（○○○○○投与中）
- ・ B傷病名（○○○再発抑制のため）
- ・ C傷病名（○○○による治療効果不十分）

注記：補足コメントは傷病名の後に括弧書きで表示されます。

メンテナンスにおける最近の課題(3)

- 稀少疾患(日本に1から数例、または日本で症例報告がない疾患)の収載要望
- 組織分類やがん取扱い規約に対応した、より詳細な病理診断病名の収載方針
- マスター内部での用語の不統一と医学用語辞典との整合性確保への対応
 - 次ページ参照

マスター内部での用語の不統一と 医学用語辞典との整合性確保について (参考事例)

- 大腸癌と結腸癌 v.s. 大腸クローン病と結腸クローン病
 - 解剖学用語では、大腸＝盲腸＋結腸＋直腸
 - 医学用語辞典：
 - 大腸癌の訳語を持つ英語：carcinoma of the large intestine、colorectal carcinoma、large bowel carcinoma、colorectal cancer、large bowel cancer
 - 結腸癌の訳語を持つ英語：colonic cancer、colonic carcinoma
 - 大腸クローン病：crohn's colitis
 - 結腸クローン病：colonic crohn's disease
 - 標準病名マスター
 - 大腸癌 と 結腸癌 は別のLT(リードターム)としている。
 - 大腸クローン病(LT)と結腸クローン病は 同義語としている。

まとめ

- 標準病名マスターは、先人らの大変な労力のもとで編纂されてきた2つの大きな病名集を統合することにより、現在の標準病名マスターとして2001年～2002年にかけてリリースされた。その後、約10年間にわたり年4回、計40回におよぶ改訂を続けている。
- 国内のほぼすべての電子カルテシステム、レセプトシステムに導入され、電子カルテデータ、電子レセプトデータ、DPCデータのICDコーディングなどに広く利用され、日本の病名コーディングの基盤や医療情報データベース解析における病名情報の解析の基盤として役立っていると言える。
- 診療科別傷病名集が目指した「意味の階層化」についてはこれからの課題である。また、診療における病名情報の正確なコーディングに向けて、電子カルテやレセプトコンピュータへの組込み方法を、より一層工夫したものにしていく必要がある。
- **さらなる「正確な病名情報コーディングとその利用基盤の確立」のために、永続的で安定的なメンテナンス体制の確立と、医療情報システム開発者、利用者から理解と協力が得られるよう関係者全体が努力しなければならない。**

ご清聴ありがとうございました